

# 第4章

## 都市交通体系における主な施策・取組

- 1 幹線道路ネットワークの構築に関する施策
- 2 公共交通ネットワークの構築に関する施策
- 3 環境負荷低減（エコアイランド）や交通事故が起きにくい交通環境の実現に関する施策

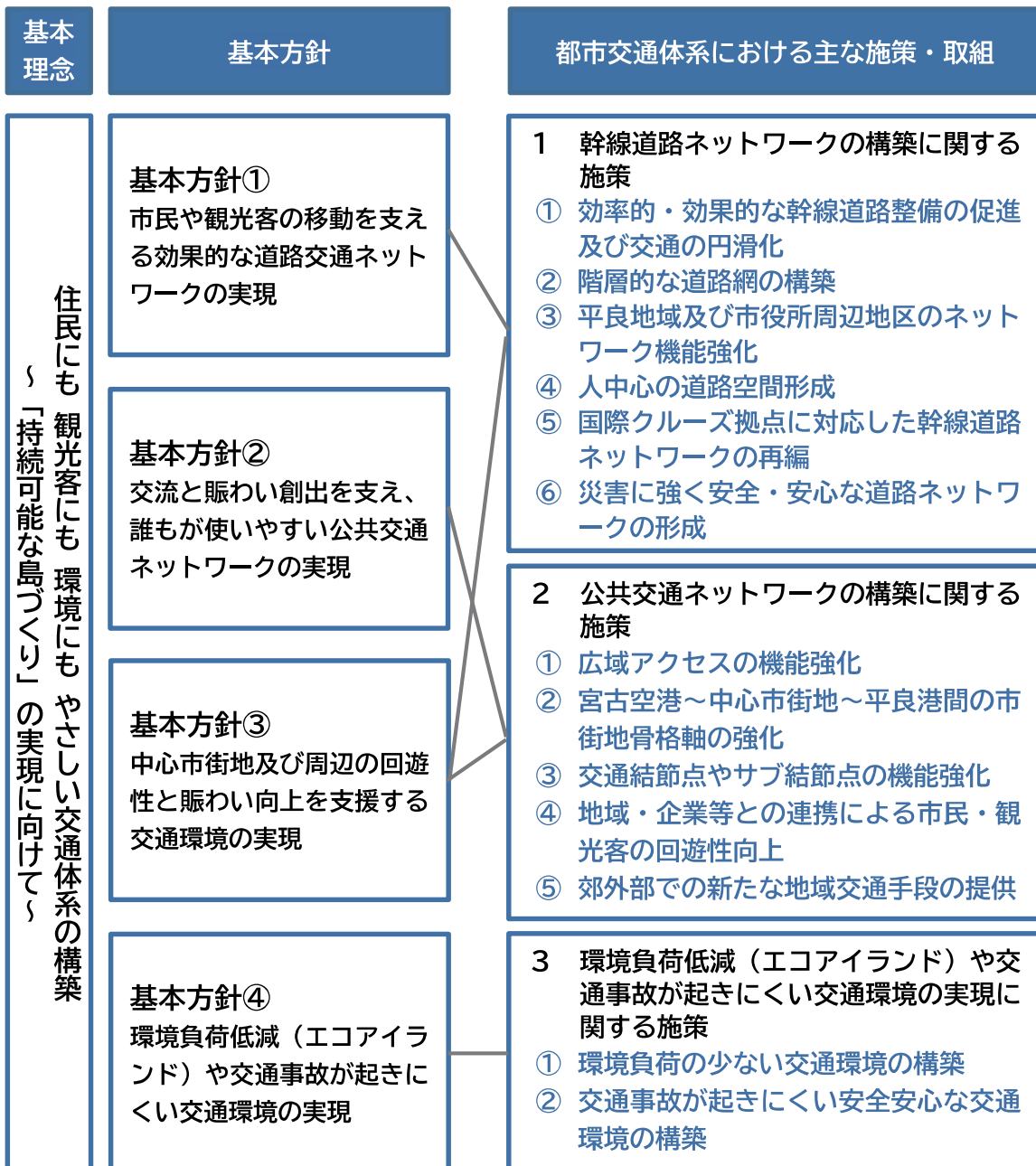


## 第4章 都市交通体系における主な施策・取組

本市が目指す将来の都市交通体系を「幹線道路ネットワーク」と「公共交通ネットワーク」のあり方に基づくとともに、「交通環境（安全、環境）」の構築に向けて、その主な施策として取組の例を示します。

また、公共交通に係る各種施策については、「宮古島市地域公共交通計画」と連携を図ります。

### ■都市交通体系における主な施策・取組



## 1 幹線道路ネットワークの構築に関する施策

### ① 効率的・効果的な幹線道路整備の促進及び交通の円滑化

- ◆平良市街地と地域間を連絡・連携する幹線道路網の整備を促進し、交通の円滑化を図ります。

#### 【主な取組の例】

- 平良市街地と地域間を連絡する幹線道路の優先的な整備・維持管理の促進

【国道 390 号】

【県道平良城辺線】（4車線化の延伸検討）

【県道平良新里線】

【県道城辺下地線・県道高野西里線】

【県道平良下地島空港線・県道下地島空港佐良浜線・市道伊良部 103 号線】

【(構想) 空港下道路】



- ◆平良市街地内の都市計画道路の未整備区間など幹線道路網の整備を促進し、交通の円滑化を図ります。

#### 【主な取組の例】

- 都市計画道路の新設整備の推進

【(都) 荷川取線】【(都) 高校東線】

- 都市計画道路の拡幅・改良整備の推進

【(都) 荷川取線】【(都) 東環状線】【(都) 大原線】

【(都) 市場通り線】【(都) マクラム通り線】

【(都) 大道線】【(都) 球場西線】



※ (都)：都市計画道路

### ② 階層的な道路網の構築

- ◆各道路の機能を勘案し、「主要幹線道路」、「幹線道路」、「補助幹線道路」及び「地域道路」の4段階の階層的な道路網の構築を目指します。

#### 【主な取組の例】

- 宮古島市都市交通マスタープランの策定

- 宮古島市地域公共交通計画との連携

### ③ 平良地域及び市役所周辺地区のネットワーク機能強化

◆平良地域及び市役所周辺地区において、ネットワーク機能の強化を目指します。

#### 【主な取組の例】

●市街地を取り囲み骨格を成す、都市計画道路の優先的な整備・維持管理の推進

【(都) 中央縦線】

【(都) 平良与那覇線・(都) マクラム通り線】

【(都) 北環状線・(都) 東環状線・(都) 西環状線】



●中心市街地を支える都市計画道路等の段階的な整備推進と維持管理

【(都) 高校東線】【(都) 大道線】【(都) 大原線】【(都) 荷川取線】【(都) 市場通り線】

【(都) 下里通り線】【(都) 土川線】【(都) 久松線】【(都) 平良新里線】【(都) 球場西線】

【(都) 平良保良線】【(都) 荷川取北線】【市道山中 11 号線】

※ (都)：都市計画道路

### ④ 人中心の道路空間形成

◆平良市街地内では、利用者の視点に立った歩行空間の充実を図るため、有機的な歩行者ネットワークの形成やユニバーサルデザインを取り入れた歩道整備を推進します。また、商店街が集積しているエリアについては、車中心からひと中心の空間へ転換を図るよう、ウォーカブルな空間の形成を推進します。

#### 【主な取組の例】

●幹線街路と中心市街地との有機的なネットワーク形成、ユニバーサルデザインを取り入れた歩道整備の推進

●歩行空間での日陰の確保、緑化促進による、歩行環境の整った歩行者ネットワーク形成の促進

●西里通りのコミュニティ道路化や散策ルートの充実など、中心市街地における安全・快適に回遊できる空間づくりの推進

●歩行空間のアメニティ向上を図る、歩行者と自転車の分離、ブルーラインによる自転車通行区分の明確化などの検討

●安全・快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市防災機能の向上などを図るための、無電柱化の促進【(都) 中央縦線】

●観光ルートとして、海岸線の観光拠点を結ぶ海岸線道路の修景の緑化、美化活動の促進  
【県道保良西里線】【県道池間大浦線】【県道保良上地線】【伊良部島・下地島沿岸部道路】  
【トゥリバー地区港湾道路】

※ (都)：都市計画道路

(参考事例) 名護市におけるブルーライン整備



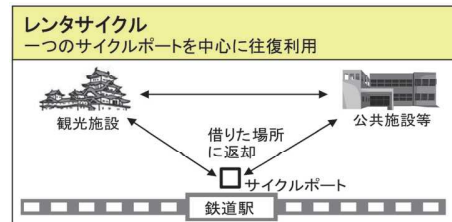
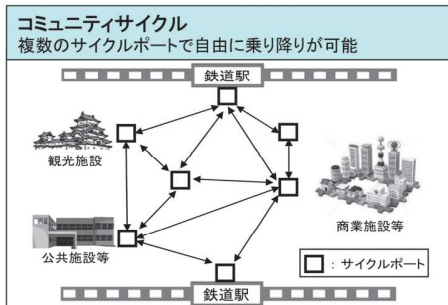
出典：名護市自転車活用推進計画

◆自転車道の整備による自転車の利用促進を図るよう、人中心の道路空間の再配分を図ります。

【主な取組の例】

- 駐輪場、レンタル自転車基地、自転車道の整備や自転車通行区分の明確化、ルートを表示、コミュニティサイクルの導入等による、平坦な地形を活かした自転車ネットワークの形成の促進
- 宮古島トライアスロンや宮古島 100km ワイドーマラソンなどのスポーツアイランド構想の促進、中心市街地の都市機能、観光機能の充実などによる、自転車利用の普及促進

(参考資料) コミュニティサイクルとレンタサイクルの違い



出典：第2回全国コミュニティサイクル担当者会議  
国土交通省都市局発表資料

(参考事例) 静岡市シェアサイクル事業 PULCLE (パルクル)

**STEP 01**

はじめにアプリをダウンロード！  
アプリはiPhone、Androidどちらでも使用することができます！

**STEP 02**

会員登録後に決済方法を登録  
クレジットカード、キャリア決済、Yahoo!ウォレットが選べます。

**STEP 03**

ステーションを選んで予約  
現在地からステーションまでのナビゲーション機能もあります！

**STEP 04**

アプリの開錠ボタンを押して、ラクラク出発！  
予約した自転車の近くでアプリ内開錠ボタンをタッチすると、鍵が解いてレンタル開始！

**STEP 05**

ステーションで施錠後に返却  
ステーション以外の場所でも一時駐輪することもできます！

出典：パルクル公式ウェブサイト

⑤ 国際クルーズ拠点に対応した幹線道路ネットワークの再編

◆平良市街地などで交通渋滞の発生が懸念される中で、需要増加に対応した都市計画道路をはじめとする幹線ネットワークの再構築により、交通の円滑化を図ります。

【主な取組の例】

- 平良港と市街地との一体性強化の推進
- 平良港に整備されたクルーズ船ターミナルから流入する来訪者を市街地やトゥリバー地区等へ誘導するための、歩行者ネットワークの充実

◆平良市街地から城辺・上野・下地の地域間の連携を強化するため、(構想) 空港下道路など、その必要性や実現性を含めた検討を進めます。

【主な取組の例】

- 平良市街地と城辺・上野・下地の地域間連携を強化する(構想) 空港下道路等の検討

⑥ 災害に強く安全・安心な道路ネットワークの形成

◆平良市街地と地域間を連絡・連携する幹線道路や平良市街地内の幹線道路等について、災害時や緊急時における安全性を確保するため、優先的な整備・維持管理を図り、災害に強く安全・安心な道路ネットワークの形成を進めます。

【主な取組の例】

- 道路施設の整備・維持管理(危険箇所の調査実施及び補修等の実施)
- 都市防災機能の向上や安全・快適な通行空間の確保のための無電柱化の促進  
【国道390号】【県道平良下地島空港線】【(都)平良久松港線】【(都)平良新里線】等

(参考事例) 宮古島市内の無電柱化された道路



## 2 公共交通ネットワークの構築に関する施策

### ① 広域アクセスの機能強化

- ◆空の玄関口で市民や観光客の重要な足として機能する宮古空港、下地島空港は、両空港の共存・共栄による機能強化を図ります。

#### 【主な取組の例】

- 宮古空港の、市民・観光客の重要な足としての機能維持、港湾との連絡機能の充実
- 下地島空港の国内及び国際旅客、物流の拠点としての活用など、多様な航空需要の創出をもたらす利活用の促進
- 空港・港湾における検疫体制の構築など防疫対策の強化の検討

- ◆国際クルーズ拠点である平良港は観光客の受入に対応した交通機能の充実と平良市街地との一体性強化を目指します。

#### 【主な取組の例】

- 平良港の、国内外からの物流やクルーズ船、大型プレジャーボートなどの寄港による観光客の受入に対応した交通機能や交流機能の充実

### ② 宮古空港～中心市街地～平良港間の市街地骨格軸の強化

- ◆海・空の玄関口である平良港・宮古空港を連携するとともに、これらの玄関口と中心市街地を結ぶ公共交通等の機能強化を図るよう、官民連携による新たな公共交通システム等の導入や市街地骨格軸上の交通結節点（宮古空港、市役所、旧平良庁舎、平良港）の機能強化を目指します。

#### 【主な取組の例】

- 市民・観光客が高頻度で集い利用する、宮古空港、中心市街地、平良港などを結ぶ公共交通軸の路線バスによるバスネットワークの信頼性確保、利便性改善の検討
  - ・宮古空港、平良港の玄関口と中心市街地を結び市街地骨格軸の強化を図るとともに、観光客が利用する商業施設等や市民生活での利用にも配慮した病院等も結び、観光客・市民の移動利便性の向上を図る移動手段を検討します。

### ③ 交通結節点やサブ結節点の機能強化

- ◆交通結節点は、公共交通機関同士やレンタカー、レンタサイクルなど多様な移動手段の乗り継ぎ利便性向上や待合環境の改善など高次の機能強化を、交通結節点を補完するサブ結節点（旧庁舎周辺など）は、路線バスと新たな地域交通手段との接続強化を目指します。

#### 【主な取組の例】

- 交通結節点へのレンタカー、レンタサイクルの配置
- サブ結節点における高齢者用電動カートなどの駐車スペース確保
- 平良港における交流拠点施設（イベントスペース）、旅客ターミナルやバス・タクシー・レンタカーなどの観光客の受入に対応した交通ターミナル機能の整備
- 誰もが利用しやすい交通結節点・サブ結節点の機能強化
  - 【旧平良庁舎における交通結節機能の強化】
    - ・中心市街地における交通結節点として、待合環境の改善と合わせて、旧平良庁舎の近隣駐車場利用者のバス等への乗り継ぎや中心市街地の回遊に資するレンタサイクルなどへの乗り継ぎ等、交通結節点の機能向上を図ります。
  - 【デジタルサイネージの活用による乗り換えや観光情報の発信】 など



(参考事例) 交通結節点に配置されたレンタサイクル

- ・下地島空港レンタサイクル「しまそらポタリング」



(参考資料) 交通結節点・サブ結節点の機能イメージ

- ・コンビニエンスストア駐車場の敷地をバス停に提供 (埼玉県深谷市)

コミュニティバス路線の見直しに伴い、コンビニへ協力依頼を行い設置されたもので、あわせて利用しやすい環境づくりという観点から、「バスまちスポット」として協力いただける施設・店舗等を募集する取組を行ったもの。

出典：第2回バスまちワークショップ資料 (関東運輸局)



- ・デジタルサイネージ (例)



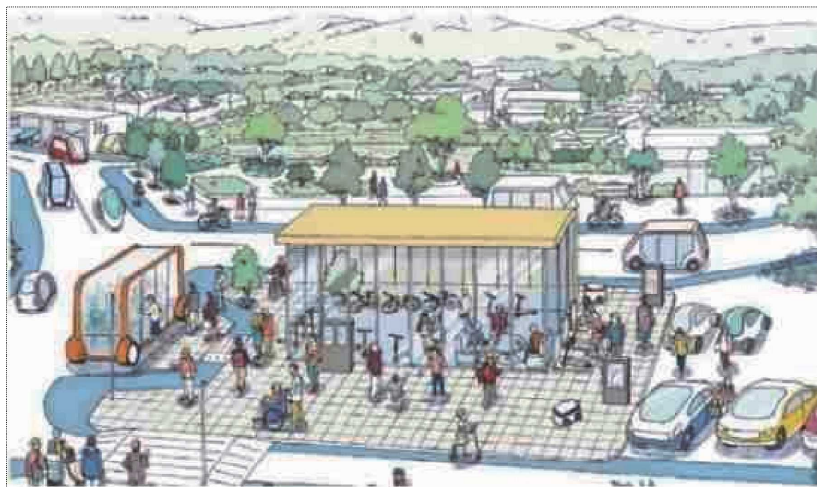
出典：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン (国土交通省道路局)

- ・郊外や中心市街地の周辺部のバスターミナルやバス停周辺などに駐車場を整備し、マイカーからバスへの乗り継ぎを図る (パークアンドバスライド)
- ・自転車からバスへの乗り継ぎを図る (サイクルアンドバスライド)



出典：国土交通省HP

- ・モビリティ・ハブ (イメージ) …様々な交通への接続・乗り換え拠点



出典：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン (国土交通省道路局)

④ 地域・企業等との連携による市民・観光客の回遊性向上

◆交通結節点と市街地内を結ぶ路線、観光地や宿泊施設等を連絡する路線の設置促進など、地域・企業等と連携を図りながら、市民・観光客の回遊性向上を目指します。

【主な取組の例】

- 宮古島ループバス社会実験の実施と導入検討
- 「(仮称)市街地循環ループバス」の導入検討(社会実験の実施)
- 交通分野と他分野との連携・協働を通じて、地域公共交通の利便性・持続可能性・生産性を高める取組の検討

(参考事例) 交通分野と他分野との連携・協働【介護×交通】(群馬県前橋市)

デイサービス事業所の送迎業務の負担増による介護スタッフの人材不足とタクシー利用者減に伴う経営悪化の課題解決のため、複数デイサービス事業者の利用者送迎業務を集約、タクシー事業者により構成される協議会へ委託。

デイサービス事業所の送迎負担を軽減、タクシー事業者側も運行のオフピークに定量的な業務を確保できる。



出典：地域の公共交通リデザイン実現会議(国土交通省)

◆市民や観光客にもわかりやすく利用しやすい運賃体系の構築や電子決済の導入のほか、MaaS等のICTを活用した新しいモビリティサービスの導入を目指すとともに、市民や観光客のニーズに合わせた既存路線の再編等に取り組みます。

【主な取組の例】

- 均一料金制や観光利用等に合わせた1日乗車券など、利用者にとって、わかりやすく利用しやすい運賃体系の再編・検討
- 路線バスやタクシー等の電子決済の導入検討
- 利用者ニーズに合わせた既存路線の再編検討
- ICTを活用したMaaS(Mobility-as-a-Service)導入の研究

(参考資料) MaaS(MaaSのサービスイメージ)

MaaS(マース:Mobility as a Service)とは、スマートフォンアプリ又はWebサービスにより、地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うことができるもので、新たな移動手段(AIオンデマンド、シェアサイクル等)や関連サービス(観光チケットの購入等)も組み合わせることが可能なサービス。



出典：MaaS入門ガイドブック(国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課)

(参考事例) mobipa (モビパ)！宮古島 (一般社団法人 宮古島観光協会)

- ・宮古島市内で提供できる様々なモビリティ (レンタカー、レンタサイクル、電動キックボード等) やアクティビティ (マリン、ツアー、モノづくり等) を同時に予約・決済できるWEBアプリ。
- ・島内のグルメやフォトスポットが一目わかるマップ、おすすめのコース、特集記事で、旅行の計画をサポート。

「mobipa (モビパ) ！宮古島」では、アカウントとクレジットカードを事前に登録するだけでレンタカー・モビリティ・アクティビティの予約・決済ができます。更には島内のグルメやフォトスポットが一目で分かるMAP、おすすめコース、特集記事で旅行の計画をサポートします。



『mobipa! 宮古島』利用方法

- STEP1 mobipa！サイト内の特集コンテンツで観光情報をチェック
- STEP2 借りたいモビリティ/アクティビティをチェック
- STEP3 アカウント・クレジットカードを登録して予約しよう

出典：mobipa!宮古島チラシ (一般社団法人 宮古島観光協会)

◆インバウンド需要にも対応した情報発信を進めます。

【主な取組の例】

- インバウンド需要に対応した交通結節点におけるデジタルサイネージを活用した乗り換え等の情報提供、案内サイン等の多言語化

(参考資料) 多言語対応デジタルサイネージによる運行情報等の提供

多言語対応のデジタルサイネージを活用し、バスの運行情報、周辺観光情報を提供。インバウンド需要に対応した外国人観光客を含めた利用者の利便性を向上。

【多言語対応の表示画面】



【外観】



※表示画面の情報は平成29年3月21日時点

出典：バスを中心とした交通結節点に関する参考事例 (国土交通省)

⑤ 郊外部での新たな地域交通手段の提供

◆郊外部では、路線バスとの連携を図りながら、各旧庁舎周辺などを中心としたきめ細やかな移動サービスの導入や、グリーンスローモビリティや超小型モビリティ、自動運転などの導入について研究を進めます。

【主な取組の例】

- 宮古島ループバスの社会実験の実施と導入検討（再掲）
- グリーンスローモビリティ、超小型モビリティ、自動運転による交通サービス等の新型輸送サービスの導入の研究を推進

(参考資料) グリーンスローモビリティ

グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電動車を活用した移動サービス。

その特長は、①Green（電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス）②Slow（景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制）③その他（同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等）

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 5人乗り	 10人乗り
 4人乗り	 6人乗り	 11人乗り
 4人乗り	 7人乗り	 18人乗り

※11人乗り以上の車両の運転には、中型自動車免許が必要になります。

出典：国土交通省ホームページ

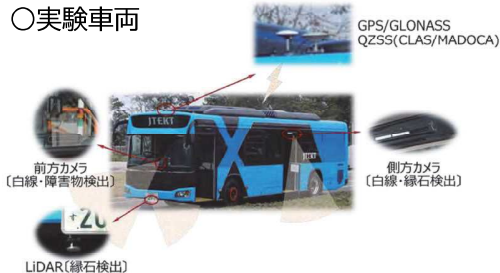
(参考事例) 自動運転バスの実証実験

沖縄県で、大型路線バスでは日本初となる公道における自動運転バスの実証実験を実施。

○実施期間：平成31年1月8日から3月7日  
(土日、一部期間除く)

○実施ルート：沖縄県那覇市及び豊見城市の県道231号線～国道331号等、幹線道路を中心とした往復約18kmのルート  
那覇空港3階、アウトレットモール「あしびなー」、道の駅「豊崎」の3か所に設置された仮バス停にて乗車・降車が可能。

○実験車両



出典：内閣府（戦略的イノベーション創造プログラム）資料

◆地域との連携を図りながら、持続可能な仕組みづくりの構築を目指します。

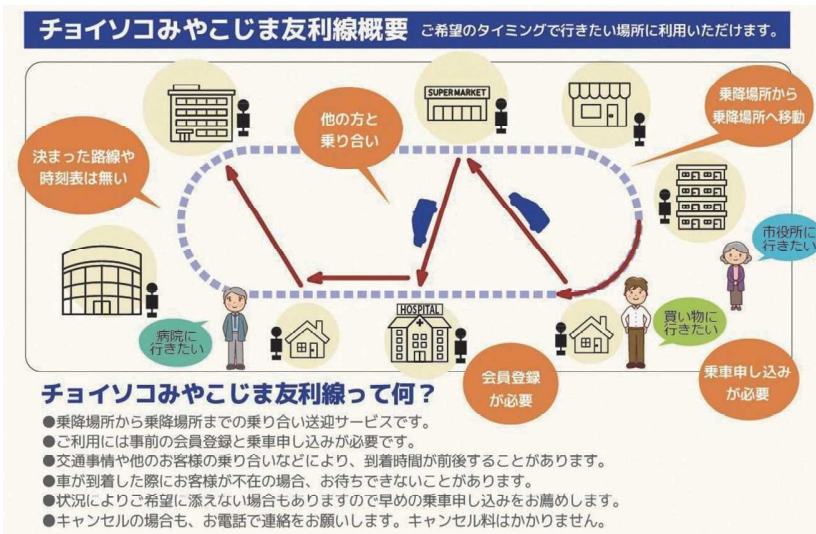
【主な取組の例】

- タクシーやその他民間サービス車両などの既存資源を活かした需要応答型(デマンド型)の交通サービスの研究を推進

(参考資料) ICT の活用 (デマンド型の乗合交通: チョイスコみやこじま)

令和4年12月15日~令和5年2月28日に、伊良部島・下地島~平良市街地で実証運行(チョイスコみやこじま)。また、令和5年9月4日~令和6年2月29日に、路線バス友利線の一部代替として、実証運行(チョイスコみやこじま友利線)。

利用者が電話やWeb及びスマートフォンのLINEアプリなどから乗車予約が可能で、専用のシステムによって、予約状況に応じて最も効率的なルートで提供される。



出典: チョイスコみやこじま友利線パンフレット

(参考事例) マイカーを使った「ささえ合い交通」(京都府京丹後市)

平成28年5月26日から運行開始した、道路運送法第78条第2号に基づく交通空白地有償運送で、地元の住民ドライバーがマイカーを使って運行している。配車は、Uberの配車アプリを使って即時配車が可能。運行主体は、NPO法人「気張る!ふるさと丹後町」。



出典: 内閣府「ささえ合い交通について」

◆公共交通が必要な運転免許返納者等の高齢者や障がい者の運賃補助など、福祉施策と連携して、日常生活の安心と負担軽減を図り、利用促進を目指します。

【主な取組の例】

- 福祉施策と連携した、高齢者や障がい者の外出を支援する運賃補助

### 3 環境負荷低減（エコアイランド）や交通事故が起きにくい交通環境の実現に関する施策

#### ① 環境負荷の少ない交通環境の構築

- ◆環境負荷の少ない移動手段の利用を促進するため、交通結節点にレンタサイクルの配置を進めるほか、環境への負荷を軽減するため、レンタカーやレンタバイクを含めた、電気自動車や電動バイク等の大気汚染物質や温室効果ガスを含む排気ガスを排出しない車両であるゼロエミッション車（ZEV）の導入・普及を目指します。

##### 【主な取組の例】

- 交通結節点へのレンタカー、レンタサイクルの配置（再掲）
- グリーンスローモビリティ、超小型モビリティ、自動運転による交通サービス等の新型輸送サービスの導入の研究を推進（再掲）

- ◆ゼロエミッション車（ZEV）の利用促進・普及のための充電インフラの管理など、利用環境の向上を目指します。

##### 【主な取組の例】

- 電気自動車に関する情報発信、充電インフラの管理などによる電気自動車普及の促進

- ◆「過度に自動車に頼る生活」から「適度に多様な交通手段を利用する生活」への転換を促すため、自治体、企業、団体、個人などを中心にモビリティ・マネジメントに取り組み、市民の意識啓発を目指します。また、学校教育などの一環として、児童・生徒を対象としたモビリティ・マネジメントについての周知のほか、利用に慣れない子どもたちや長年利用してなかった高齢者のための「バスの乗り方教室」などにより、公共交通の利用促進を図ります。

##### 【主な取組の例】

- モビリティ・マネジメントに関する教育・講座の実施
- 幼児・児童や高齢者等を対象とした「バスの乗り方教室」の実施

#### ② 交通事故が起きにくい安全安心な交通環境の構築

- ◆本市の将来を担う子どもたちの命を守るため、警察、各学校及び道路管理者などと連携を図りながら、通学路等における交通安全対策を引き続き対策を講じます。
- ◆道路の適切な維持管理や交通安全施設の整備・点検により、交通事故が起きにくい安全な交通環境の構築を図るとともに、家庭・地域・学校・職場のほか、観光客を含め、各関係機関が連携して、交通マナーの啓発による交通安全に関する意識の醸成により、安全安心な交通環境の構築を進めます。

##### 【主な取組の例】

- 快適な道路環境を確保するため、交通に支障をきたしている箇所の修繕の重点的実施
- 無信号交差点における安全対策（路面標示等による減速及び注意喚起対策、ポストコーンの設置、ラウンドアバウトの導入など）
- 交通安全施設等の整備（道路反射鏡、防護柵など）
- 通学路等における交通安全対策
- 子どもや高齢者に見合った交通安全教育や交通ルール遵守に向けた交通安全運動の実施

(参考資料) ゾーン30・ゾーン30 プラス

「ゾーン30」は、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制します。

「ゾーン30 プラス」とは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30キロ毎時の区域規制（ゾーン30）と、狭さくやスラローム等の物理的デバイスの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のことをいい、警察と道路管理者が連携して全国的に整備を進めているものです。



**警察による低速度規制  
ゾーン30**

ゾーン30  
最高速度30km/hの  
区域規制

**宮古島市内の  
ゾーン30 実績**



+

**道路管理者による物理的デバイス設置**

(進入抑制対策)



ライジングボラード

ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物です。

(速度抑制対策)



ハンプ

路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。



スムーズ横断歩道

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。

狭さく



車両の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。

シケイン(クランク型)



一定区間の道路を直線的に屈曲させ、車両の速度を抑制する構造物です。

シケイン(スラローム型)



一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造物です。

+

**ゾーン30プラス**



看板  
〈ゾーン30プラスの入口(岐阜県各務原市の例)〉  
路面表示

30  
プラス

● 進入抑制対策  
● 速度抑制対策

出典：国土交通省

(参考事例) ラウンドアバウトの導入（うるま市）

- 交差点の安全性向上  
(交通事故の減少/車両速度抑制)
- 災害時の対応力向上  
(信号を必要としないため、災害時でも交通処理可)  
など



出典：国土交通省

